

空き家対策と活用について



井上 将議員

問 空き店舗の活用促進のため、空き店舗バンクの創設をしてはどうか。

答 空き家実態調査で得た状態の良い空き家へ優先的に戸別訪問し、可能な限り所有者への接触を図り、空き家バンクへの登録を促すことで、登録物件数の増加を見込む。

各地区の自主的な防犯活動の一環として設置している
防犯灯には、それぞれの地域性があり、市で統一的な管理を行なうことは難しいと考えて
いる。しかしながら、今後の人口動態や地区の活動状況を見る中で、必要最小限度の防犯灯については、市としても、どういった対応ができるのかについて、検討しなければいけないのではないかと考えている。

引き受けるというのは、現状においては非常に厳しい状況であるということも認識を願いたい。

問 最新の空き家実態調査の結果と今後の対策計画について問う。

度・危険度ランクの推移をみると、良い状態のものが減つて、危険な状態のものが増えている。新たな計画では、特に管理不全空き家への対策強化等、老朽危険空き家に対する行政代執行等を含めた新たな対応を計画の中で検討している。

設備の設置と蛍光灯、体育館の水銀灯などをLED化する設計予算を計上しており、これららの設置に要する期間については、2、3年程度かかる

市長の政治姿勢について



野々下 昌文 講員

答 早期復興を実現するため、移転復興を視野に入れた計画は必要であると私は考えていい。長期浸水が収まった後、エリアによつては、現地復興

学校体育館の空調 設備の設置について

防災対策について

問 空き家バンクの実績が過去5年間で登録41件、契約件数26件と少ないようを感じるが今後の対応について問う。

問 空き家バンクの実績が過去5年間で登録41件、契約件数26件と少ないようを感じるが今後の対応について問う。

問 設置にかかる費用と光熱費について国から新たな交付金が創設されたが、その交付金を活用して体育館の空調整備の設置を行うべきではない

問 空き家バンクの実績が過去5年間で登録41件、契約件数26件と少ないように感じる。すると、良い状態のものが減つて、危険な状態のものが増えている。新たな計画では、特化等、老朽危険空き家に対する行政代執行等を含めた新たな対応を計画の中で検討している。

度・危険度ランクの推移をみると、度・危険度ランクの推移をみると、業者などと連携しながら、空き店舗情報の収集、所有者とそれを活用したい方とのマッチング等に取り組んでいきたい。

問 設置にかかる費用と光熱費について国から新たな交付金が創設されたが、その交付

学校体育館の空調設備の設置について

答 令和6年度の調査では、
総数が1369件と前回の調

答 空き店舗バンクの整備について、既存市街地の活性化と移住定住施策を推進するうえで、重要な取り組みと考えている。令和7年度は、都心部から新たな発想、視点を

業が終わってからでは速度感
が遅いのではないか。

ものではないかと考えている

問 令和7年度の中心となる 施策を問う。

「災対策」に加え、急激に進行する人口減少問題に対し、婚姻数の増加を目的とした出会いの機会の創出などを図るための施策や積極的な情報発信等による移住促進施策などを推進する「人口減少対策」の2点に重点的に予算配分を行っている。

問 まちづくり計画のアンケートでは、津波被災後、多くの市民が長期間の仮設住宅住まいを想定しているが、早期復興を目指すとなると現地復興ではなく、移転復興を見据えなくてはならない。市民の意に沿わない計画になるのではないか所見を問う。

答 早期復興を実現するため、移転復興を視野に入れた計画は必要であると私は考えていい。長期浸水が収まった後、エリアによつては、現地復興